



よこはまの  
**いきもの**  
ハンドブック

**KanKen**

表紙写真（左上から時計回り）

裏表紙写真

コゲラ・ハラビロカマキリ・タヌキ・シマヘビ  
キンラン・クサガメ・カラスアゲハ  
メジロ

# よこはまの いきもの ハンドブック



▲ シュレーゲルアオガエル

## 目 次

はじめに・守ろう！フィールドマナー .....	1
この小冊子の見方・凡例 .....	2
横浜の環境 .....	3
植物	
ラン .....	5
鳥類	
町なかの鳥 .....	11
両生類	
カエル・イモリ .....	17
爬虫類	
ヘビ・トカゲ・ヤモリ（有鱗目） .....	23
カメ（カメ目） .....	27
哺乳類 .....	31
昆虫	
アゲハチョウ .....	35
カマキリ .....	39
セミ .....	43
掲載種一覧 .....	47

## はじめに

この小冊子では、横浜市内で見られる生き物を中心に86種類を紹介しています。市街地の公園や人家のまわり、市民の森や林、河原、畑などで見られる種類を紹介しています。「横浜の生き物について知りたい子どもから大人」の方々が気軽に持ち歩き、ご活用いただけるように作成しました。

### 守ろう！ フィールドマナー

- ・横浜市内にも毒やトゲを持った生き物が見られます。また、風の強い日などは枯れ枝の落下や倒木の危険性が高まります。突然の雨や熱中症リスクなども考慮しながら野外での活動に適した服装を心がけましょう。



- ・横浜市内には土地所有者の好意により市民に開放されている樹林地もあります。生き物観察に夢中になり園路を外れることの無いようにしましょう。



- ・生き物の採集が禁止されている地域も多くあります。また他地域からの生き物の持ち込みはやめましょう。



# この小冊子の見方

①名前  
標準和名を基本に一般的な呼び名を記載。  
( )の中は学名を示しました。

②レア度  
横浜市内での見つけやすさを示しました。

③データ  
時期や生息環境など特徴的なものを書き出しました。

④写真  
撮影した場所と撮影日を記載しました。

## アオスジアゲハ (*Graphium sarpedon*)

時期：5月～9月  
食樹：クスノキ、タブノキ、シロダモなど  
生息環境：食樹が生育する樹林や街路樹付近など  
Point：樹木や花の周りをすばやく飛びまわる。  
オスは水辺において吸水するのをよく見かける。



ぜんこうし  
前後翅の青色帯が目立つ



緑区 (2021.08)

⑤生態写真や見分ける際に特徴的な写真などを示しました。

⑥見分けPOINT  
生き物を見分ける際のポイントを分かりやすいように写真上に示しました。

# 小冊子の凡例

レア度

★ 普通に見られる

★★

★★★めったに見られない

## レア度

横浜市内での見つけやすさ。生き物を観察する際の参考にしてください。



## 横浜の里山代表種

横浜の里山に見られる種。里山とは人々の暮らしの中で維持されてきた昔ながらの環境のことをいいます。



## 外来種

人間によって横浜に持ち込まれた種です。



## 毒ヘビ

牙などに毒を持つヘビ。見かけても近づかずそっとしておきましょう。

# 横浜の環境

横浜市は、神奈川県東部の位置しています。川の源流から河口、海、樹林地や街など様々な環境があることが特徴です。



## 横浜の水と緑



緑の10大拠点

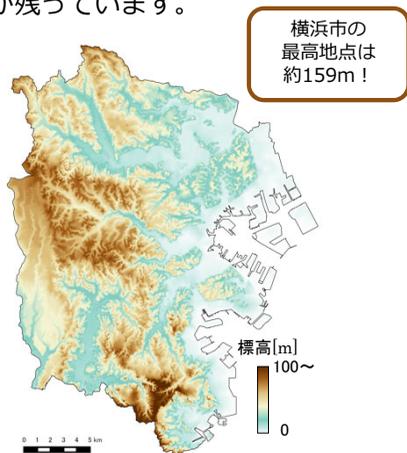
横浜みどりアップ計画[2019-2023], 横浜市環境創造局, 2018

横浜市には合計56の河川が存在し、鶴見川、帷子川、大岡川などが東京湾に、柏尾川を支川に持つ境川が相模湾に注いでいます。また帷子川、入江川・滝の川、大岡川、宮川・侍従川の4つの流域については、横浜市で完結した流域となっており、市内に源流域が存在します。

さらに、河川の源流・上流域から中流域にかけては、まとまりのある樹林地や農地が残されています。横浜市では、それらの地域を「緑の10大拠点」として位置づけ、地域の特徴を活かしながら保全・活用し、次世代への継承に取り組んでいます。

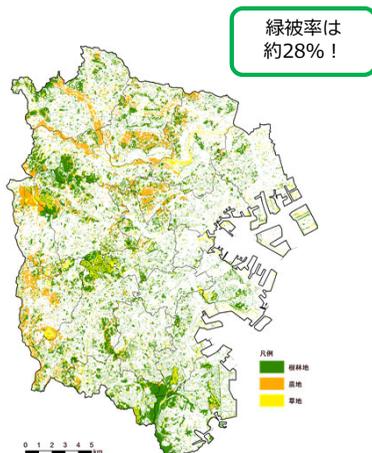
# 横浜の地形

横浜の地形は、多摩丘陵（北部）から三浦丘陵（南部）へかけて南北に丘陵がつながっています。人口の増加に伴い住宅地の開発などが進み、樹林地や農地などの緑が失われましたが、谷戸が入り組んでいる地形のため、里山らしい多様な環境が残っています。



横浜の地形

国土地理院 基盤地図情報数値標高モデルより環境科学研究所が作成



緑被分布図（令和元年度）

横浜市第11次緑地環境診断調査（令和元年度）より環境科学研究所が作成

# 生き物と環境とのつながり

横浜市には多様な自然環境があり、それぞれの環境ごとにすむ生き物にも違いが見られます。また緑の10大拠点からその周辺、都市部の環境はお互いに作用し合いながら、地域独特の生態系をつくりあげています。

この冊子では、そんな横浜にすんでいる生き物について紹介します。

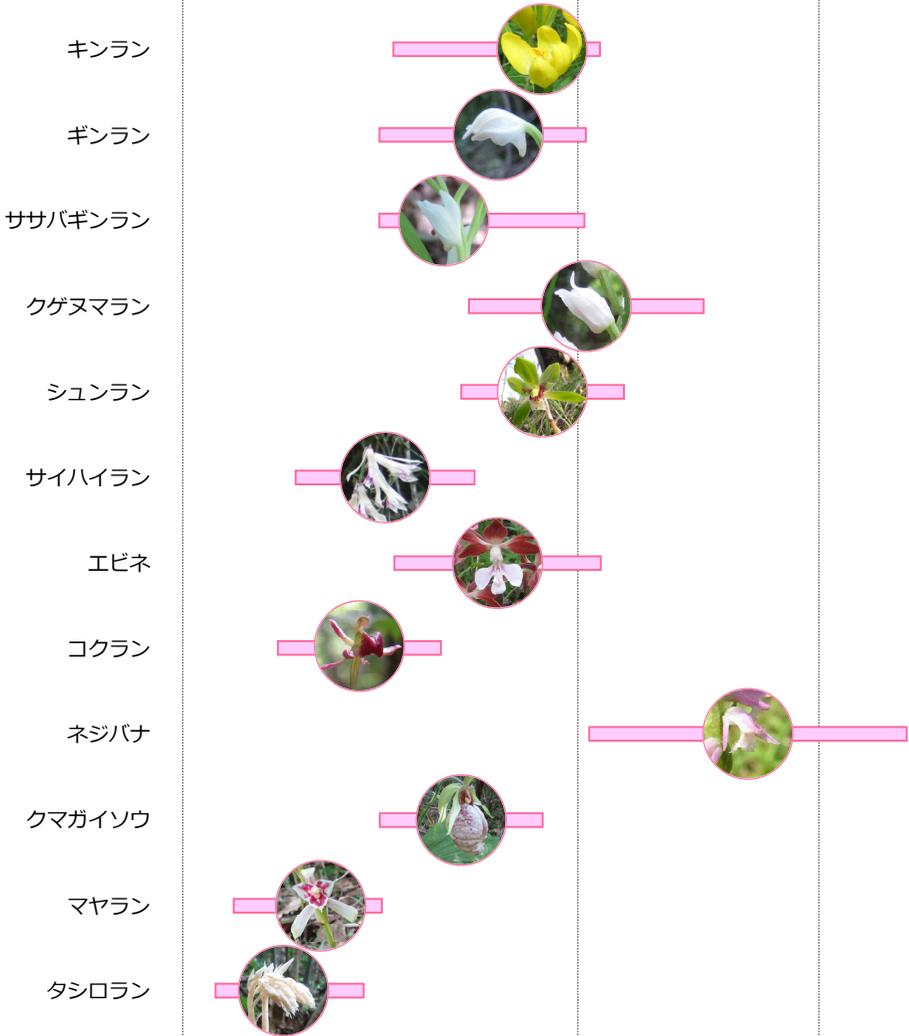


横浜市環境管理計画，横浜市環境創造局政策課，2018

# 横浜の植物

横浜で見られるラン類のうち12種を紹介

ラン



## キンラン (Cephalanthera falcata) ★★

大きさは：20～70cm  
 花期：4月～6月  
 生活型：多年草  
 生育環境：手入れの行き届いた雑木林  
 や林縁

Point：名前の由来は黄色い花から。

春	夏	秋	冬
花期			

花期
見られる時期

黄色い花が目立つ



旭区 (2015.04)

## ギンラン (Cephalanthera erecta) ★★

大きさは：10～30cm  
 花期：5月～6月  
 生活型：多年草  
 生育環境：丘陵の雑木林  
 Point：名前の由来は白い花から。

春	夏	秋	冬
花期			

花の付け根付近 (距<sup>きよ</sup>) が突出している



旭区 (2018.04)

## ササバギンラン (Cephalanthera longibracteata) ★★

大きさは：20～50cm  
 花期：5月～6月  
 生活型：多年草  
 生育環境：丘陵の疎林  
 Point：ギンランより大きい。

春	夏	秋	冬
花期			

花より高くのびる葉が特徴



緑区 (2014.05)



金沢区 (2019.04)



## クゲヌマラン (Cephalanthera longifolia) ★★

大きさ：20～40cm

花期：4月下旬～5月

生活型：多年草

生育環境：海岸地帯の林床、公園など

Point：市内各地で見つかるようになっている。

名前の由来は藤沢市鵜沼で  
見つかったことから。

くげぬま

春	夏	秋	冬
花期			

きよ  
距がない

## シュンラン (Cymbidium goeringii) ★★

大きさ：10～20cm

花期：3月～4月

生活型：常緑性 多年草

生育環境：乾燥気味のやや明るい  
落葉樹林の林床など

Point：漢字では「春蘭」。

春	夏	秋	冬
花期			



淡い黄緑色の花



緑区 (2018.03)

## ランと菌根菌 きんこんきん

キンランやギンラン、シュンランなどは明るい林床に生え、里山的環境を指標する種として注目されることの多い植物です。

ラン類は生育するのに菌類を必要とするものも多く、キンランはイボタケ科、ベニタケ科などのキノコの仲間（菌根菌）から栄養を吸収しています。また、これらの菌根菌は、コナラなどの樹木と共生関係にあります。樹林地とキノコがセットになって初めてキンランの生育する環境が整うのです。

## サイハイラン *(Cremastra variabilis)* ★★

大きさ：30～50cm

花期：5月～6月

生活型：常緑性 多年草

生育環境：やや明るく湿った雑木林など

Point：名前の由来は昔、戦場で指揮をとるのに使った「采配」に似ていることから。

春	夏	秋	冬
	花期		

花は赤紫色を帯びている



磯子区 (2020.05)

## エビネ *(Calanthe discolor)* ★★

大きさ：20～40cm

花期：4月～5月

生活型：常緑性 多年性

生育環境：雑木林、竹林など

Point：名前の由来は横に連なる茎の形がエビに似ていることから。

春	夏	秋	冬
花期			



緑区 (2017.04)

## コクラン *(Liparis nervosa)* ★★

大きさ：15～30cm

花期：6月～7月

生活型：常緑性 多年草

生育環境：やや暗い常緑広葉樹の林床など

春	夏	秋	冬
	花期		

暗紫色の花



緑区 (2017.07)



神奈川区 (2021.06)

## ネジバナ (*Spiranthes sinensis* var. *amoena*)

大きさ：10～40cm  
 花期：5月～8月  
 生活型：多年草  
 生育環境：日当たりのよい草地、  
 道路脇など  
 Point：芝地に生えているのをよく見る。

春	夏	秋	冬
	花期		

らせん状に淡紅色の花が咲く

## クマガイソウ (*Cypripedium japonicum*)

大きさ：20～40cm  
 花期：4月下旬～5月上旬  
 生活型：多年草  
 生育環境：スギ林、竹林の林床など  
 Point：名前の由来は鎌倉時代の武将、熊谷直実  
 の背負った母衣ほろにたとえたもの。

春	夏	秋	冬
花期			

淡黄緑色の花を横向きにつける



緑区 (2017.04)

## ランの花

ラン類は花の形が個性的で人気のある植物です。複雑な花の形は狙った昆虫に花粉を運んでもらう効果があります。

クマガイソウは袋状になった花の中にマルハナバチ類を誘い、袋から出ていく際に花粉の塊を虫の背中に貼り付けます。背中に花粉塊のついたハチが再び別のクマガイソウの花に入れば、受粉が成功します。



## マヤラン (*Cymbidium macrorhizon*) ★★★

大きさ：10～30cm

花期：6月～9月

生活型：多年草

生育環境：常緑広葉樹の林床など

point：名前の由来は神戸市の「<sup>まや</sup>摩耶山」で見つかったことから。

春	夏	秋	冬
	花期		

光合成で自活する能力がないため  
菌類と共生して栄養素を得ている（菌従属栄養植物）

花は白色で紅紫色の斑紋がある



戸塚区 (2020.06)

## タシロラン (*Epipogium roseum*) ★★★

大きさ：20～50cm

花期：6月～7月

生活型：多年草

生育環境：常緑広葉樹の腐葉土に富んだ林床など

Point：名前の由来は発見した「<sup>たしろ</sup>田代」氏にちなむ。

春	夏	秋	冬
	花期		

マヤランと同じく  
葉緑体を持たないラン

全体的に白く、花は垂れて咲く



戸塚区 (2020.06)

## ランと名のつくランでない植物

ランの美しさや人気にあやかっただけか、ランのなかま（ラン科）でないのに「ラン」とつく植物がたくさんあります。

市内林床にも見られるヤブランやお寿司の下に敷くハララン、観葉植物のオリヅルラン、ドイツスズラン、クンシラン、マツバララン、テキーラの原料となるリュウゼツラン、その仲間のキミガヨランなどがあります。



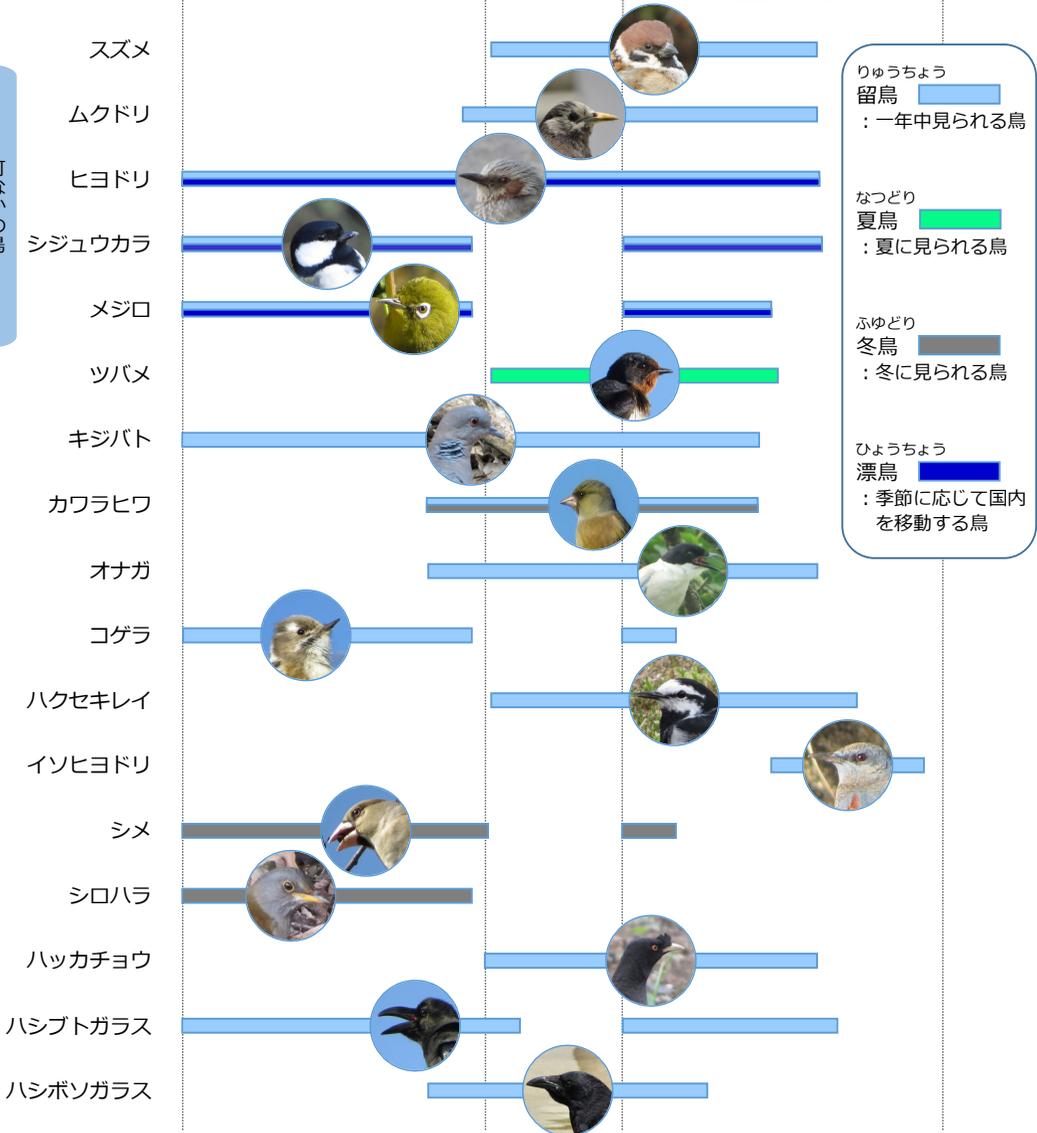
ヤブラン

# 横浜の鳥類

横浜の町なかでみられる鳥類のうち17種を紹介



町なかの鳥



## スズメ (Passer montanus) ★

大きさ：全長※14cm

※くちばしの先から尾羽の先までの長さ

渡り区分：留鳥

生息環境：人家周辺、農耕地など

鳴き声：「チュン、チュン」



中区 (2014.02)

頬に大きな黒い斑がある



旭区 (2014.04)

## ムクドリ (Spodiopsar cineraceus) ★

大きさ：全長24cm

渡り区分：留鳥

生息環境：市街地、農耕地や河川敷など

鳴き声：「ジャー、キュルキュルキュル」

Point：秋から冬は大きな集団を作り、  
街路樹などでねぐらをとる。

くちばしと脚がだいたい色

## ヒヨドリ (Hypsipetes amaurotis) ★

大きさ：全長27cm

渡り区分：留鳥または漂鳥

生息環境：林、市街地など

鳴き声：「ピーヨ、ピーヨ」



中区 (2014.02)

目の後方から頬は茶色

## ものさし鳥

見つけた鳥の名前を調べる際、役に立つのが色彩や形、大きさです。しかし、離れたところにいてよく動く鳥の大きさを記憶するのはなかなか難しいものです。スズメやムクドリ、ハトやカラスといった普段よく見る鳥の大きさを「ものさし鳥」としてよく覚えておき、「スズメとムクドリの間大きさ」などと目安に使うと、あとで名前を調べるのに便利です。



戸塚区 (2016.12)

## シジュウカラ (Parus minor) ★

大きさ：全長14cm  
渡り区分：留鳥または漂鳥  
生息環境：林、市街地の公園  
人家周辺など

鳴き声：「ツツピー・ツツピー、ジユク  
ジユク」



喉から腹にかけて黒い帯がある

## メジロ (Zosterops japonicus) ★

大きさ：全長12cm  
渡り区分：留鳥または漂鳥  
生息環境：林、市街地など  
鳴き声：「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛」  
と聞きなされる



西区 (2015.01)

頭から背中側はうぐいす色で目の周りが白い

## ツバメ (Hirundo rustica) ★

大きさ：全長17cm  
渡り区分：夏鳥  
生息環境：市街地や農地  
人家の軒下など

鳴き声：「土喰って、虫喰って、しづ〜い」  
と聞きなされる



戸塚区 (2016.06)

尾は長く (燕尾) 背面はすべて黒っぽい

## キジバト (Streptopelia orientalis) ★

大きさ：全長33cm  
渡り区分：留鳥  
生息環境：林、市街地や公園など  
鳴き声：「デデッポッポー」



首に数本のスジがある

港北区 (2018.05)

カワラバト (ドバト) は  
黒っぽいものから茶色、白まで  
色が様々。翼の内側が白いのが特徴！



## カワラヒワ (Chloris sinica) ★★

大きさ：全長15cm  
渡り区分：留鳥または冬鳥  
生息環境：農耕地、河原、市街地など  
鳴き声：「キリキリコロコロ、ピーーン」

翼と尾羽の一部が黄色、尾羽の中央はへこむ

戸塚区 (2018.12)

## オナガ (Cyanopica cyanus) ★★

大きさ：全長37cm  
渡り区分：留鳥  
生息環境：林や市街地の公園など  
鳴き声：「ゲーエ」

翼と長い尾羽は水色



港北区 (2020.08)

町なかの鳥

## コゲラ (Dendrocopos kizuki) ★★

大きさ：全長15cm  
渡り区分：留鳥  
生息環境：林や公園など  
鳴き声：「ギー……」  
Point：日本でみられるキツツキの仲間としては最も小さい。



背中側はこげ茶色と白色の縞模様

緑区 (2017.02)

## ハクセキレイ (Motacilla alba) ★

大きさ：全長21cm  
渡り区分：留鳥  
生息環境：河原や農耕地、人家周辺など  
鳴き声：「チュチュン」



セグロセキレイは頬が黒いよ！

顔が白く、眼を通る黒い線がある

西区 (2016.03)



西区 (2019.05)

## イソヒヨドリ (*Monticola solitarius*) ★★

大きさ：全長24cm  
渡り区分：留鳥  
生息環境：沿岸沿いの岩場や  
ビルの上など  
鳴き声：「ピルピロピヨロリ」

幼鳥やメスは地味な色をしてるよ！



背中側は青く、腹側は赤茶色

## シメ (*Coccothraustes coccothraustes*) ★★

大きさ：全長19cm  
渡り区分：冬鳥  
生息環境：林、市街地など  
鳴き声：「ピチッ、パチッ」

太いくちばしで腹側は全体に白っぽく見える



西区 (2019.01)



戸塚区 (2021.02)

## シロハラ (*Turdus pallidus*) ★★

大きさ：全長24cm  
渡り区分：冬鳥  
生息環境：林、林縁部、公園など  
鳴き声：「ツイー、キョキョ」

腹側が白っぽい

## ハッカチョウ (*Acridotheres cristatellus*) ★★

大きさ：全長27cm  
渡り区分：留鳥  
生息環境：市街地や農耕地など  
鳴き声：「キュン、キュン」  
POINT：横浜では港南区や戸塚区など限られた地域でよく見られる。



全体的に黒いが翼に白い模様がある



栄区 (2021.04)





旭区 (2016.03)

## ハシブトガラス (Corvus macrorhynchos) ★

大きさ：全長57cm  
渡り区分：留鳥  
生息環境：林、市街地など  
鳴き声：「カーカー」

くちばしが太く、額がもりあがっている

## ハシボソガラス (Corvus corone) ★

大きさ：全長50cm  
渡り区分：留鳥  
生息環境：農耕地、草地など開けた場所  
鳴き声：「ガーガー」

くちばしから額にかけてなだらか



西区 (2014.02)

町なかの鳥

## 都市に適応した「都市鳥」

キジバト、ヒヨドリ、ハクセキレイなどは町なかでもよく見かける鳥ですが、いずれももともと都市で一年中みられるような鳥ではありませんでした。

例えばキジバトが都市に進出してきたのは1960年代後半、ヒヨドリは1970年代、コゲラは1980年代、イソヒヨドリは2000年代です。冬にしか見られなかったハクセキレイが神奈川県に定着、繁殖するようになったのは1970年代ですが、今では駅前などで集団でねぐらをとる最もポピュラーな鳥のひとつになりました。

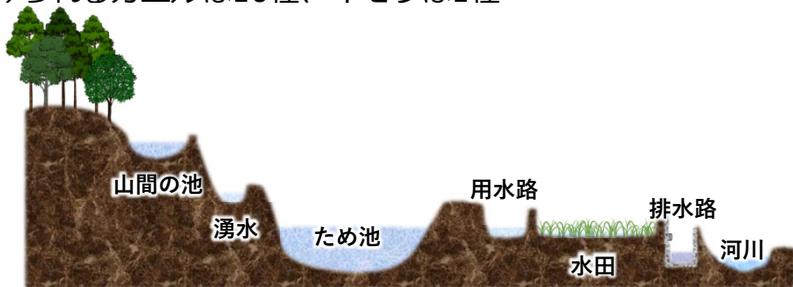
都市の環境に適応し、「都市鳥」化する鳥は、今後も増えていくものと思われます。



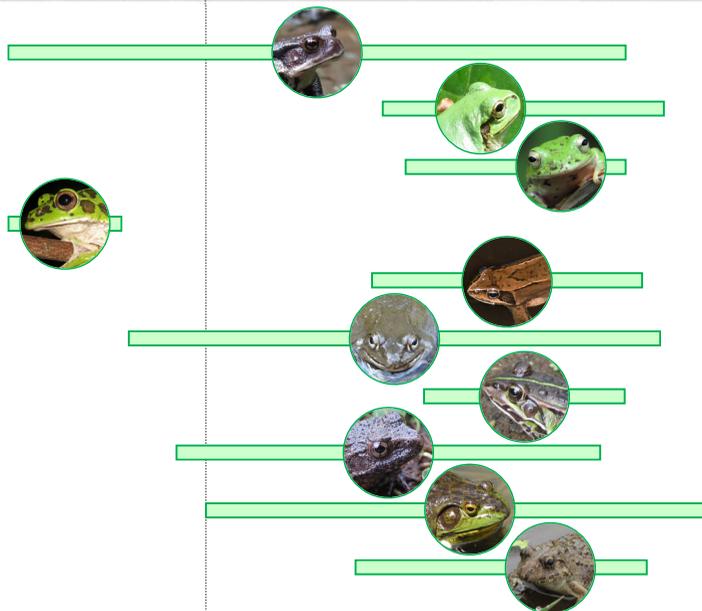
巣立ったばかりのハクセキレイ (西区 2020年7月)

# 横浜の両生類

横浜で見られるカエルは10種、イモリは1種※



- アズマヒキガエル
- ニホンアマガエル
- シュレーゲルアオガエル
- モリアオガエル
- ニホンアカガエル
- ヤマアカガエル
- トウキョウダルマガエル
- ムカシツチガエル
- ウシガエル
- ヌマガエル



カエル・イモリ

※一部地域では「トノサマガエル」「アカハライモリ」が確認されています

## カエルの一生

寒天質に包まれた卵や泡に包まれた卵がある



成体

産卵



卵

ヤマアカガエル

産卵後5～10日くらいでふ化する  
(種類や水温によって違う)

ふ化



幼生

変態：後肢が生えてきて口や腸も変化し、前肢が生えてくる。

## アズマヒキガエル *(Bufo japonicus formosus)* ★

大きさ：雄4.3～16.1cm、雌5.3～16.2cm

繁殖期：2月～4月

生息環境：草むら、竹やぶ、人家の庭など

繁殖期以外はほとんど

水に入らない

鳴き声：「クックックツ…」

全身がイボイボ



旭区 (2014.06)



鼻先がとがっていない



泉区 (2015.09)

## ニホンアマガエル *(Dryophytes japonicus)* ★

大きさ：雄2.2～3.9cm、雌2.6～4.5cm

繁殖期：5月～7月

生息環境：庭の生垣、水田、湿地、

河川敷など

鳴き声：「クワツ・クワツ…」



鼻孔から鼓膜まで黒い筋模様がある

カエル・イモリ

## カエルのたまご



らんかい  
球形の卵塊



ひも状卵塊

アズマヒキガエル



水面に広がる卵塊

ニホンアカガエル  
ヤマアカガエル  
トウキョウ  
ダルマガエル等



泡状卵塊

シレーゲルアオガエル  
モリアオガエル

ウシガエル



緑区 (2019.05)

## シュレーゲルアオガエル ★ (*Zhangixalus schlegelii*)

大きさ：雄3.2~4.3cm、雌4.3~5.3cm  
繁殖期：2月下旬~5月  
生息環境：水田周辺、草地など  
鳴き声：「キリリリッ・キリ  
リリッ」



鼻先がとがり、虹彩は黄色っぽい

## モリアオガエル ★★★★ (*Zhangixalus arboreus*)



大きさ：雄4.2~6.0cm、雌5.9~8.2cm  
繁殖期：4月下旬~7月上旬  
生息環境：山地（森林）など  
鳴き声：「カララ・カララ…コロコロ」  
Point：卵は水辺に張り出した木の枝に産む。



緑区 (2020.05)



虹彩に赤みがある

カエル・イモリ



緑区 (2014.02)

## ニホンアカガエル ★★★ (*Rana japonica*)

大きさ：雄3.4~6.3cm、雌4.3~6.7cm  
繁殖期：1月~3月  
生息環境：明るい樹林、水田周辺の草むらなど  
鳴き声：「キョツキョツ  
キョツ…」



背側面にある線がまっすぐ

## ヤマアカガエル ★ (*Rana ornativentris*)

大きさ：雄4.2~6.0cm、雌3.6~7.8cm  
繁殖期：2月~3月  
生息環境：山地の樹林など  
鳴き声：「ニヤツニヤツ  
ニヤツ…」



背側面にある線が目の後ろでくの字に曲がる



磯子区 (2012.08)

## トウキョウダルマガエル

(*Pelophylax porosus porosus*)

大きさ：雄3.9～7.5cm、雌4.3～8.7cm

繁殖期：4月下旬～7月

生息環境：平地の水辺など

鳴き声：「ンゲゲゲゲ」

背中  
の斑紋が  
独立している

※横浜では外来種のトノサマガエルと  
間違えないように注意が必要



トノサマガエルは  
斑紋が重なり、足が長め!



緑区 (2018.10)



緑区 (2017.10)

背面のいぼが細長い

## ムカシツチガエル

(*Glandirana reliquia*)

大きさ：雄3.7～4.6cm、雌4.4～5.3cm

繁殖期：5月～9月

生息環境：水田，河川，山間の水辺近くなど

鳴き声：「ギュー・ギュー・・・」

Point：ヒキガエルとともにイボガエルとも呼ばれる。

※関東から東北太平洋側のツチガエルは2022年  
にムカシツチガエルと命名されました

## ウシガエル

(*Lithobates catesbeianus*)

大きさ：雄11.1～17.8cm

雌12.0～18.3cm

繁殖期：5月～9月上旬

生息環境：池・用水路など

鳴き声：「モーウ・モーウ・・・」

鼓膜が大きくて目立つ



緑区 (2018.07)

カエル・イモリ

## ヌマガエル

(*Fejervarya kawamurai*)

大きさ：雄2.9～4.5cm、雌3.2～5.4cm

繁殖期：5月～8月

生息環境：平地の水田、池沼など

鳴き声：「キャウ・キャウ・・・

グエツ・グエツ」

目と目をつなぐような模様がある



戸塚区 (2018.08)





横浜市 (2021.08)

# アカハライモリ

(*Cynops pyrrhogaster*)



大きさ：7~13cm

繁殖期：4月~7月

生息環境：水のきれいな池、  
流れのゆるい川など

Point：市内で見つかるものは他地域  
からの持ち込みと思われる。

腹部の赤い模様は個体差が激しい



## オタマジャクシの背比べ



アズマヒキガエル		小さくて、黒い	
ニホンアマガエル		はなれ目、かなり前からしっぽがついている	
シュレーゲルアオガエル		しっぽがとがり、斑紋がある	
モリアオガエル		しっぽは後方で細くなり、斑紋がない	
ニホンアカガエル		背に斑点がある	
ヤマアカガエル		背に斑点がない	
トウキョウダルマガエル		内臓が透けて見えない、 尾びれに網目がない	
ヌマガエル		尾びれに黒い斑紋	
ムカシツチガエル		目が十字 しっぽに黒・銀白の斑紋	
ウシガエル		小さいうちは模様あり	



## 「外来種」ってなに？

人間によってもともと生息していなかった地域へ持ち込まれた生き物を外来種と言います。

外国から持ち込まれたものを「国外外来種」、国内の他の地域から持ち込まれたものを「国内外来種」と分けることもあります。

外来生物法では外来種のうち、外国から持ち込まれた国外外来種を「外来生物」とし、そのなかでも特に農林水産業や人体、生態系への影響が大きいものを「特定外来生物」としています。

ウシガエルは1918年以降にアメリカから日本へ持ち込まれた「国外外来種」です。食用として各地で養殖されるなどし、食用ガエルとも呼ばれました。体が大きく、いろいろな生き物を食べ、繁殖力も高いことから、現在は特定外来生物に指定されています。

ヌマガエルはもともと西日本に生息し、関東にはいなかった「国内外来種」です。神奈川県内では1990年代に確認されるようになりました。稲藁や苗、土砂などに混入して、非意図的に持ち込まれた可能性が高いそうです。生息環境のよく似たトウキョウダルマガエルなどへの影響が心配されます。

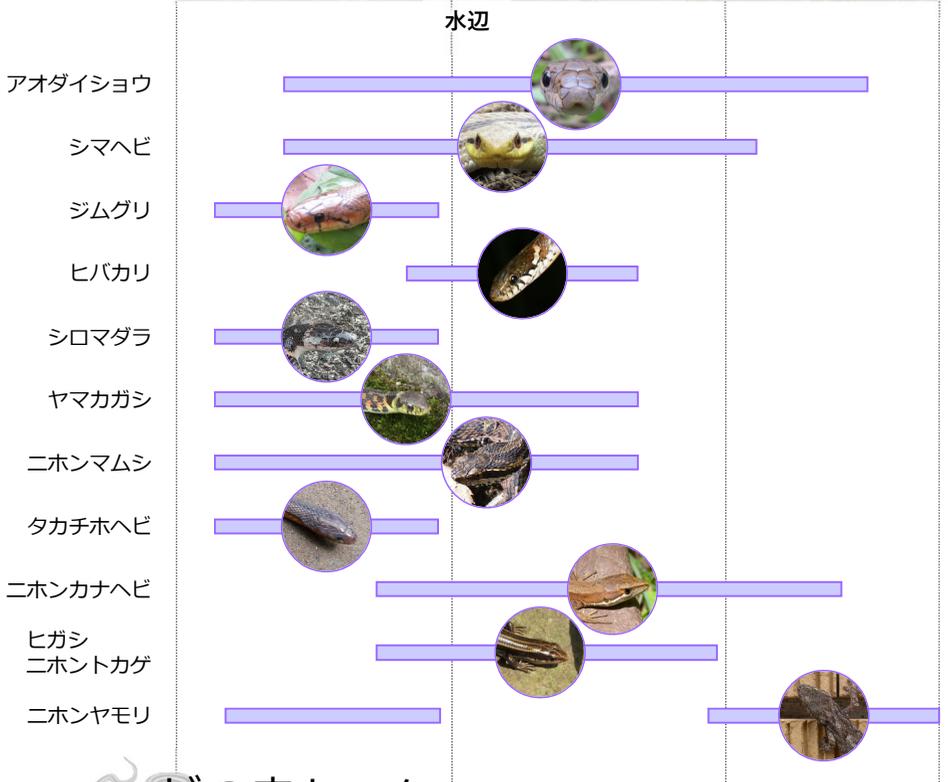
外来種の侵入、定着は長い時間をかけてつくられたその地域独自の生態系を破壊してしまうこととなり、一度失われた生物多様性を元に戻すことは容易ではありません。



ウシガエル

# 横浜の爬虫類 ～ヘビ・トカゲ・ヤモリ～

横浜でみられるヘビは8種、トカゲは2種、ヤモリは1種



## ヘビの赤ちゃん



ニホンマムシの幼蛇



シマヘビの幼蛇



アオダイショウの幼蛇

ヘビ・トカゲ・ヤモリ

# アオダイショウ

(*Elaphe climacophora*)



大きさ：全長110～200cm  
繁殖期：7月～8月  
生息環境：山地（森林）、  
藪、人家のそば等  
食性：鳥や鳥の卵など



港北区 (2017.05)



シマヘビよりも青みがかった

# シマヘビ

(*Elaphe quadrivirgata*)



大きさ：全長80～150cm  
繁殖期：7月～8月  
生息環境：日の当たる石垣、草地  
道路脇など  
食性：カエル、トカゲ  
ネズミなど



泉区 (2019.04)

体にすじがある



こうさい  
虹彩が赤い

# ジムグリ

(*Euprepiophis conspicillatus*)



大きさ：全長70～100cm  
繁殖期：4月～6月  
生息環境：主に森林（地中に潜る）  
食性：ネズミなど小型の哺乳類  
Point：春や秋に見つかることが多い。



戸塚区 (2019.04)

赤茶色に黒い斑点が目立つ



腹面の市松模様  
ポイントだよ！

ヘビ・トカゲ・ヤモリ



戸塚区 (2020.05)

## ヒバカリ (*Hebius vibakari vibakari*)



大きさ：全長40～60cm  
繁殖期：5月～6月  
生息環境：水田、水路周辺など  
食性：カエル、ミミズ、ドジョウなど

口角から頸部にかけて  
斜めに淡黄色の帯が入る



## シロマダラ (*Lycodon orientalis*)



大きさ：全長30～70cm  
繁殖期：7月～8月  
生息環境：山地（森林）など  
食性：トカゲ、ヘビなど  
Point：夜行性でなかなか見つからない。

灰色から薄い茶褐色で黒い横帯が入る



緑区 (2020.05)



緑区 (2019.10)

## ヤマカガシ (*Rhabdophis tigrinus*)



大きさ：全長70～150cm  
繁殖期：6月～8月  
生息環境：森林や平地の湿地、小川など  
食性：カエル、ドジョウなど  
Point：奥歯に毒がある。



関東のものは黄色やオレンジ、  
黒の模様が入ることが多い

## ニホンマムシ (*Gloydus blomhoffii*)



大きさ：全長40～65cm  
繁殖期：8月～10月  
生息環境：森林や藪、田畑など  
食性：カエル、ネズミ、トカゲなど  
Point：明らかに太短い体型。



楕円形の斑紋が体全体にある



磯子区 (2012.10)



うろこが重なっていないから  
乾燥に弱いお肌

磯子区 (2016.05)

## タカチホヘビ (Achalinus spinalis) ★ ★ ★

大きさ：全長30～60cm

繁殖期：7月～8月

生息環境：平地や森林

の落ち葉や石の下など

食性：ミミズなど

Point：夜行性でなかなか見つからない。

背中の中真ん中に黒色の線が一本入る

## ニホンカナヘビ ★

(Takydromus tachydromoides)

大きさ：全長16～27cm

繁殖期：3月～9月

生息環境：藪や草地、庭先など

食性：昆虫やクモ

褐色で腹面が灰色(黄)を帯びた白色



お肌はかさかさしている

磯子区 (2012.06)

## ヒガシニホントカゲ ★

(Plestiodon finitimus)

大きさ：全長20～25cm

繁殖期：5月下旬～6月上旬

生息環境：人家の庭、畑、道路脇の斜面など

食性：ミミズ、クモ

コオロギなど



つやつやしている

西区 (2014.06)



若いうちはしっぽが青いよ!



## ニホンヤモリ ★

(Gekko japonicus)

大きさ：全長10～14cm

繁殖期：5月上旬～8月上旬

生息環境：人家などの戸袋や壁の隙間

食性：蛾やユスリカなど



うろこがこまかい  
垂直のガラス面も登れる



泉区 (2022.05)

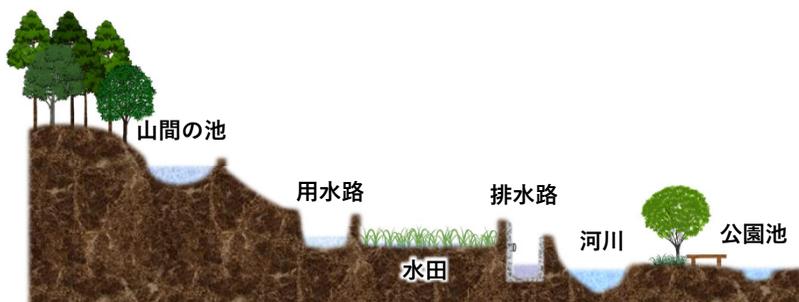
へビ・トカゲ・ヤモリ

# 横浜の爬虫類

～カメ～

横浜でみられるカメのうち5種を紹介

カメ



ミシシッピ  
アカミミガメ



ニホンイシガメ



クサガメ



ニホンスッポン



カミツキガメ



## カメの甲羅

カメはそれぞれ甲羅に特徴があり、その形などから見分けることができます。

ミシシッピ  
アカミミガメ



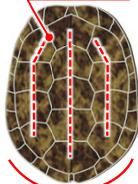
なめらか

ニホン  
イシガメ



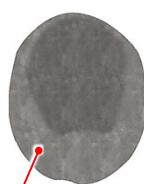
ギザギザ

クサガメ  
3本の  
盛り上がり



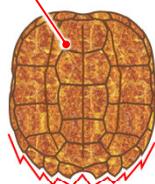
なめらか

ニホン  
スッポン



皮膚に覆われ  
つぎ目がない

カミツキガメ



ドーム状

ギザギザ

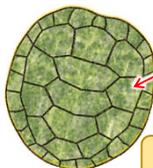
## ミシシippアカミミガメ

(*Trachemys scripta elegans*)

大きさ：甲長20～28cm  
産卵期：5月～8月（2～25個産卵）  
生息環境：川の中下流、池沼、  
          神社の池など  
食性：雑食性でカニや水生昆虫、  
          ハスなどの水生植物など



鶴見区（2017.05）



子ガメはミドリガメと  
呼ばれ、甲羅はきれい

眼の後方に赤い模様がある



カメ

## ニホンイシガメ

(*Mauremys japonica*)

大きさ：甲長10～20cm  
産卵期：6月～8月（4～10個産卵）  
生息環境：河川や水田、水路など  
          きれいな水や自然が残る場所  
食性：雑食性で水生植物、水生昆虫など



中区（2020.05）



顔は黄土色



## クサガメ

(*Mauremys reevesii*)



大きさ：甲長20～30cm  
産卵期：6月～7月（4～11個産卵）  
生息環境：池や河川の中下流域、  
          田んぼや水路など  
食性：雑食性で魚、アメリカザリガニ、  
          貝類など硬いものも食べる



西区（2019.06）

首に黄緑色のスジ模様がある



旭区 (2017.06)

## ニホンスッポン

(*Pelodiscus sinensis*)



大きさ：甲長15～40cm

産卵期：6月～8月（8～50個産卵）

生息環境：底が砂泥質の湖沼や流れの緩やかな河川など

食性：肉食性で魚や甲殻類、水生昆虫など

Point：気性が荒く、鋭い顎でかみつ়く。

頭が細くとがっている

## カミツキガメ

(*Chelydra serpentina*)



大きさ：甲長30～50cm

産卵期：5月～9月（20～40個産卵）

生息環境：川や池など水草が茂っている場所

食性：肉食性で魚や甲殻類、貝類など

Point：市内ではたまに捕獲される程度。

しっぽに突起がある



旭区 (2018.04)

## いろいろなカメ

横浜市内ではその他いくつかの海外産カメが見つかっています。ペットやその子孫であり、飼育のモラルが問われるところです。



ミシシッピニオイガメ

ハナガメ



ミシシッピチズガメ

## 横浜のカメ事情

現在、市内で最も普通に見られるカメは外来種であるミシシippアカミミガメとされます。子ガメはミドリガメと呼ばれ、ペットとして人気があり、1990年代半ばには年間100万匹も国内に輸入されていたことがありました。雄は成長すると前足の爪が長く伸び、一回り以上大きな雌の顔の前で前足をヒラヒラ動かして求愛します。



ミドリガメ



ミシシippアカミミガメの求愛

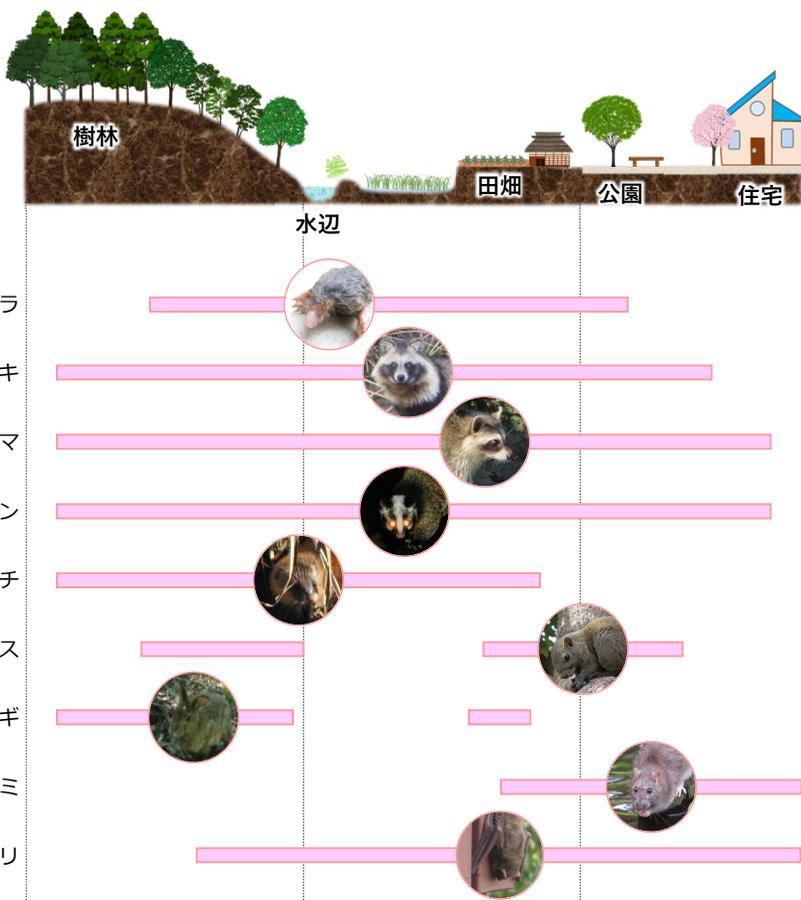


ニホンイシガメの子 ゼニガメ

在来種であるニホンイシガメの子ガメは丸い甲羅からゼニガメと呼ばれて親しまれてきましたが、今はなかなか見ることのできない種となってしまいました。古くに日本に持ち込まれた可能性のあるクサガメ（草亀でなく臭い亀）の子がゼニガメとして販売されていることもあるようです。2種は自然下でも雑種をつくり、中間的な形質を持ちウンキュウと呼ばれています。

# 横浜の哺乳類

横浜でみられる哺乳類のうち9種を紹介※



※その他、ヒミズ、アカネズミ、カヤネズミ、アナグマなどが確認されています

哺乳類



はく製 旭区産 (2020.03)

## アズマモグラ *(Mogera imaizumii)* ★

大きさ：頭胴長\*12~16cm

\*頭からしっぽの付け根までの長さ

繁殖期：春

生息環境：平野の畑地やゴルフ場など

食性：ミミズ類、昆虫類ほか植物種子も食べる

Point：トンネルを掘り、地表に土を盛り上げる（モグラ塚）。西日本には、より大きなコウベモグラが生息している。



市外で撮影 (2018.01)

## タヌキ (*Nyctereutes procyonoides*)



大きさ：頭胴長50~68cm

繁殖期：3月

生息環境：樹林や民家周辺など

食性：雑食

Point：巣穴の外の一定の場所に糞をする【ため糞】の習性をもつ。



しっぽがシマシマでない

## アライグマ (*Procyon lotor*)



大きさ：頭胴長55~65cm

繁殖期：夏

生息環境：水辺近くの樹林、農地や民家周辺

食性：カエル、魚、鳥卵など雑食性



緑区 (2016.07)

しっぽがシマシマ

哺乳類



緑区 (2021.02)

## ハクビシン (*Paguma larvata*)



大きさ：頭胴長61~66cm

繁殖期：6月~9月

生息環境：樹林や農地、人家周辺

食性：カキなどの果実や小型哺乳類、鳥類や鳥卵なども食べる

鼻から後頭部に白帯があり、しっぽは40cmほどと長い

## 誰の手がた？

哺乳類は直接目で見て確認することが難しいため、足跡やフン、食痕などの動物たちがそこに居た痕跡（フィールドサイン）を探してみましょう！

誰がいたのかな？



ㄐㄨㄟㄣㄟㄣㄟㄣㄟㄣㄟㄣㄟ

## ニホンイタチ (Mustela itatsi) ★★★

大きさ：頭胴長 雄28~40cm  
雌16~32cm

繁殖期：4月~6月

生息環境：水田、水路周辺など

食性：ネズミ、カエル、昆虫、魚など

Point：夜行性だが昼間にも活動する。



栄区 (2018.01)

額から鼻にかけて黒い斑紋がある



港南区 (2010.04)

## クリハラリス (Callosciurus erythraeus) ★



大きさ：頭胴長19~22cm

繁殖期：年に2回繁殖する

食性：種子、果実などの植物のほか、鳥卵など

Point：分布域を広げており、市外ではニホンリスとの競合などが懸念されている。また、樹皮剥ぎなどの樹木への被害が報告されている。タイワンリスとも呼ばれている。

ニホンリスと違い、おなかは白くない

## ノウサギ (Lepus brachyurus) ★★★

大きさ：頭胴長50cm程度

繁殖期：年に2~3回繁殖する

生息環境：藪や草原、森林など

食性：樹根、樹皮、葉、昆虫など

Point：早朝や夕方ごろに活動する。

草地の減少に伴い、市内では減っていると思われる。



栄区 (2017.07)

長い耳が特徴



西区 (2014.06)

## ドブネズミ (Rattus norvegicus) ★★



大きさ：頭胴長20cm

繁殖期：主に春と秋

生息環境：水辺、下水路や住居の下など

食性：雑食性で卵、鳥の雛なども食べる

Point：よく似ているクマネズミは耳が大きい。また、樹林地にはアカネズミが生息している。

耳が小さい



港北区 (2015.08)

# アブラコウモリ (*Pipistrellus abramus*)

大きさ：頭胴長4.2～5.5cm  
繁殖期：夏季  
生息環境：川沿いの人家周辺など  
食性：小型の昆虫類など  
Point：イエコウモリとも呼ばれ、都市部でも見られる。

夜行性だが、日中に飛ぶこともある

哺乳類

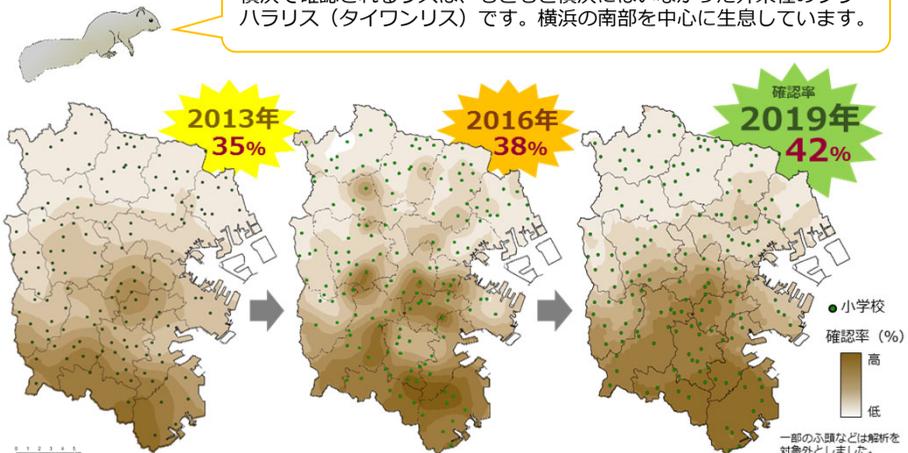
## 横浜でクリハラリスが増えている！？

調査票

横浜市環境科学研究所では、市内の小立小学校の児童を対象に、家や学校の近くで見つけた生き物を報告してもらう『こども「いきいき」生き物調査』を実施しています。

過去3回の調査から、リスを見た人の割合（確認率）が増加し、市の南部ほど確認率が高いことがわかりました。

横浜で確認されるリスは、もともと横浜にはいなかった外来種のクリハラリス（タイワンリス）です。横浜の南部を中心に生息しています。



リスの調査結果 (2013年・2016年・2019年)

詳細は、WEB検索または二次元コードから

こども いきいき

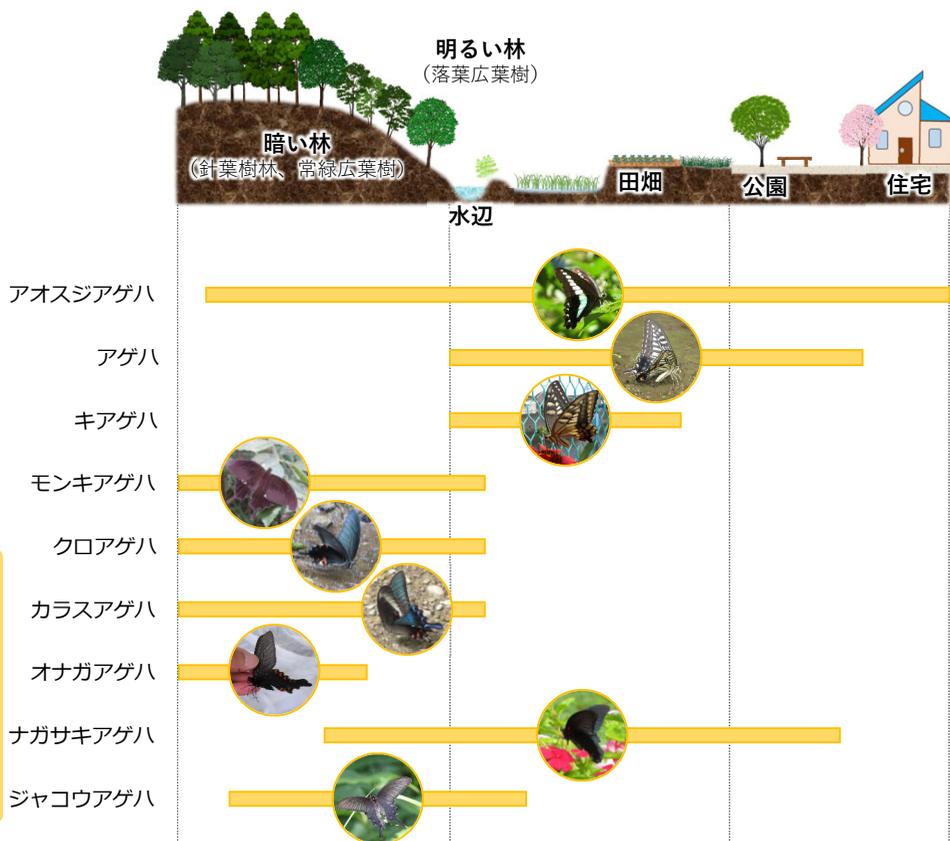
検索



# 横浜の昆虫

## ～アゲハチョウ～

横浜でみられるアゲハチョウは9種※



アゲハチョウ

※一部地域では「ミヤマカラスアゲハ」が確認されています

### アゲハチョウの一生



## アオスジアゲハ *(Graphium sarpedon)* ★

時期：5月～9月

食樹：クスノキ、タブノキ、シロダモなど

生息環境：食樹が生育する樹林や街路樹付近など

Point：樹木や花の周りをすばやく飛びまわる。

オスは水辺において吸水するのをよく見かける。



ぜんこうし  
前後翅の青色帯が目立つ



緑区 (2021.08)

## アゲハ (ナミアゲハ) *(Papilio xuthus)* ★

時期：3月下旬～10月

食樹：サンショウ、ミカンなどミカン科

生息環境：食樹が生育する人家周辺や農地など



鶴見区 (2017.06)

ぜんし  
前翅の付け根にしま模様がある



アゲハチョウ

## キアゲハ *(Papilio machaon)* ★★

時期：3月下旬～9月

食樹：セリ、ミツバなどセリ科

生息環境：明るい草地、畑地など



前翅の付け根が黒い



緑区 (2020.07)

アゲハに比べて黄色が濃い





栄区 (2017.05)

## モンキアゲハ *(Papilio helenus)* ★

時期：4月下旬～10月

食樹：カラスザンショウなどミカン科

生息環境：人家周辺、樹林

こっし  
後翅の黄白斑が目立つ

## クロアゲハ *(Papilio protenor)* ★

時期：4月下旬～10月

食樹：サンショウ、カラスザンショウなど  
ミカン科

生息環境：林縁部



びじょう  
オナガアゲハより尾状突起が短い



栄区 (2019.06)

アゲハチョウ

## カラスアゲハ *(Papilio dehaanii)* ★★

時期：5月～9月

食樹：コクサギ、カラスザンショウなど  
ミカン科

生息環境：林縁部、谷筋の林道



はね  
角度によって翅表面が青くみえる



栄区 (2019.05)

## オナガアゲハ *(Papilio maciletus)* ★★★

時期：5月、7月～8月

食樹：コクサギなどミカン科

生息環境：水辺

Point：前後翅は全体的に細長い。

尾状突起が長く、やや内側に曲がる



緑区 (2019.06)

## ナガサキアゲハ *(Papilio memnon)* ★★

つけ根の赤い斑紋が特徴

時期：5月～10月  
 食樹：ナツミカンなどミカン科  
 生息環境：人家周辺  
 Point：国内では生息域が北上していて、  
 温暖化の影響も指摘されている。



栄区 (2016.08)

尾状突起がない



オスは翅が黒い

アゲハチョウ類はSwallow Tailと呼ばれ、ツバメの尾のような尾状突起が特徴。市内で尾状突起がないアゲハチョウ類はアオスジアゲハとナガサキアゲハのみ。

## ジャコウアゲハ *(Atrophaneura alcinous)* ★★★★

時期：5月～10月  
 食樹：ウマノスズクサ  
 オオバウマノスズクサ  
 生息環境：河川敷、明るい林  
 Point：オス、メスともに緩やかに飛ぶ。



磯子区 (2016.04)

尾状突起は細く内側に曲がらない



## アゲハチョウ類の幼虫がよくいる植物



【カラスザンショウ】  
 モンキアゲハ  
 クロアゲハ  
 カラスアゲハなど

【サンショウ】  
 アゲハ  
 クロアゲハ



【セリ】  
 キアゲハ

【オオバウマノスズクサ】  
 ジャコウアゲハ

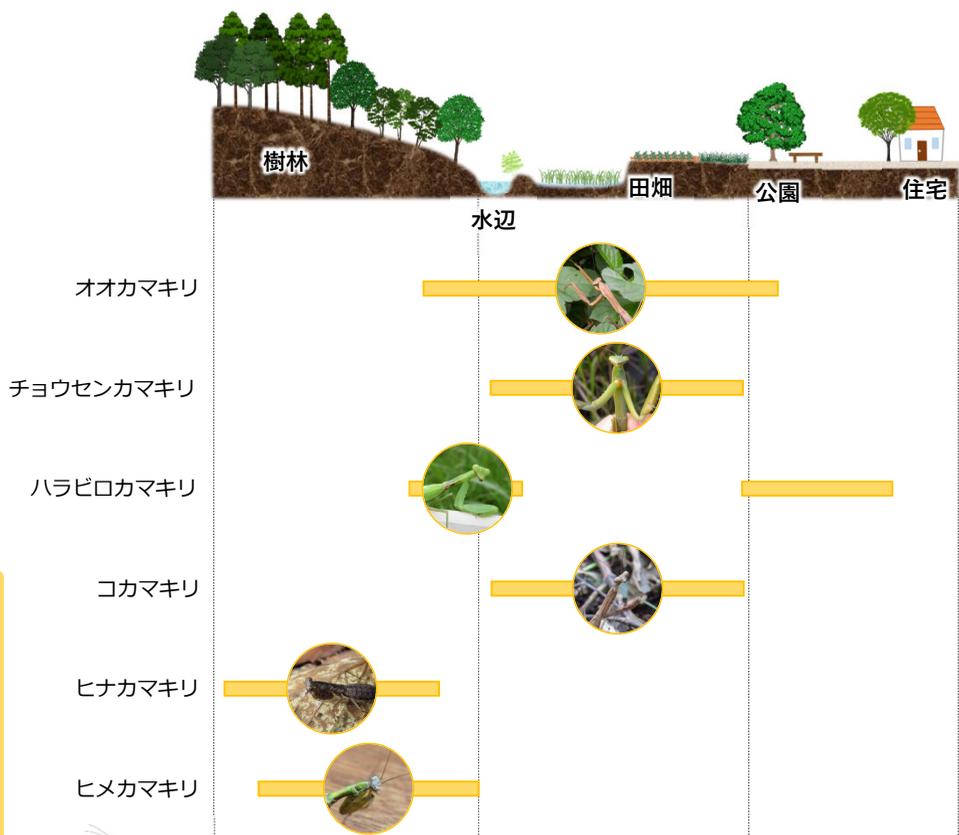


アゲハチョウ

# 横浜の昆虫

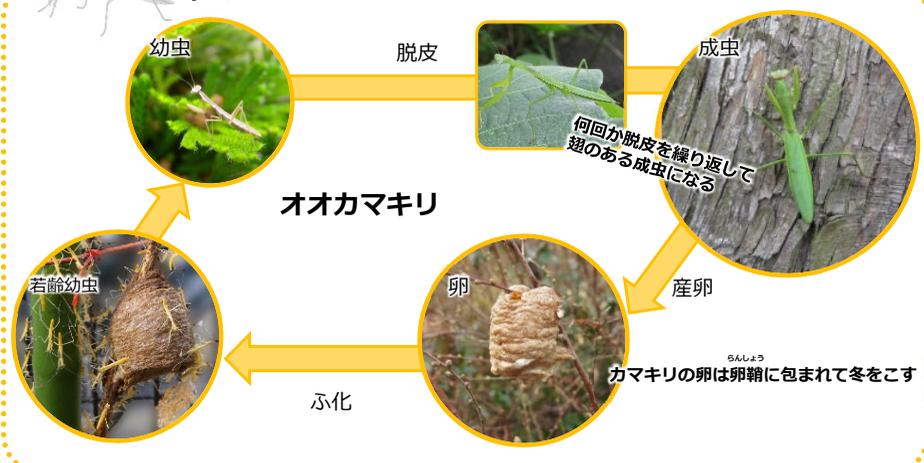
## ～カマキリ～

横浜で見られるカマキリは6種



カマキリ

### カマキリの一生



## オオカマキリ *(Tenodera sinensis)* ★

大きさ：体長 雄68～91mm  
雌75～95mm

時期：8月下旬～11月

生息環境：林縁など

Point：日本で一番大きなカマキリ。

幼虫や成虫はチョウセンカマキリに似るが卵鞘の形は異なる。



栄区 (2019.09)

## チョウセンカマキリ ★★ *(Tenodera angustipennis)*

大きさ：体長 雄65～90mm  
雌68～92mm

時期：9月～11月

生息環境：草地や河原、田畑など

Point：市内で見られる場所は限られるが、工場地帯の草地などで見られることもある。



戸塚区 (2019.09)

## オオカマキリとチョウセンカマキリ の見分け方

### オオカマキリ

前脚の付け根が黄色



後翅全体が濃色

### チョウセンカマキリ

前脚の付け根がオレンジ色



後翅の大半がほぼ無色



保土ヶ谷区 (2014.10)

## ハラビロカマキリ

(*Hierodula patellifera*)



大きさ：体長 雄45～65mm  
雌52～71mm

時期：9月～11月  
生息環境：樹上で林縁部や  
公園などの樹

全体的に幅広い



## ムネアカハラビロカマキリ分布拡大中

ハラビロカマキリによく似た外来種です。2000年代に岐阜県などで見つかり、最近では神奈川県でも相次いで確認されています。在来のハラビロカマキリと置き換わってしまう可能性があります。

大きさ：体長 雄64～83mm 時期：9月～11月  
雌71～80mm



羽の幅が在来種より広い

胸部が赤い



## コカマキリ (*Statilia maculata*)



大きさ：体長 雄36～55mm  
雌46～63mm

時期：9月～11月  
生息環境：草地や畑など

前脚に斑紋がある



戸塚区 (2016.09)

## カマキリとハリガネムシ

針金のような見た目のハリガネムシはカマキリなどに寄生します。

ハリガネムシは水中で産卵をするため、時期が来ると宿主のカマキリの行動を操り水辺へ誘導します。その後、カマキリは水に飛びこみ、ハリガネムシを放出します。



## ヒナカマキリ (Amantis nawai) ★★★

大きさ：体長 雄12～15mm  
雌13～18mm

時期：9月～12月

生息環境：明るい林の落ち葉の上など

成虫になっても翅が小さい



港南区 (2016.10)

## ヒメカマキリ ★★★★ (Acromantis japonica)

大きさ：体長 雄25～32mm  
雌25～31mm

時期：9月～12月

生息環境：樹上性で林縁部に生息

Point：照明に飛んできてくることがある。

※市内では一部地域で確認例がある

足はまだら模様



市外で撮影 (2004.11)

カマキリ

## カマキリの卵鞘 らんしょう

オオカマキリ



草の茎や低木の枝など

チョウセンカマキリ



草の茎など

コカマキリ



石や倒木の裏など

ハラビロカマキリ

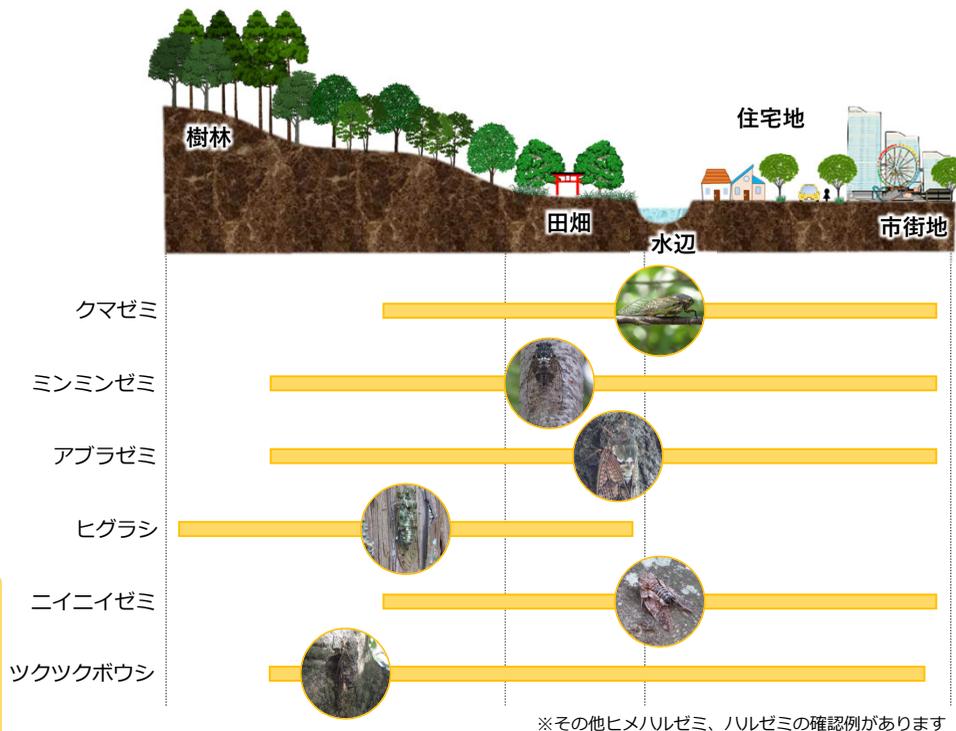


樹木の幹や枝堀など

# 横浜の昆虫

～セミ～

横浜でみられるセミは6種※



## セミの一生



## クマゼミ (Cryptotympana facialis) ★★

大きさ：体長 雄48mm  
雌44mm

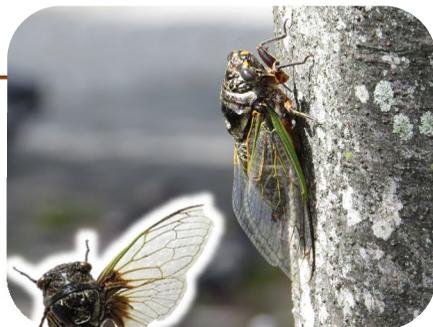
時期：7月中旬から9月上旬

生息環境：平地や市街地など

よく見られる木：ケヤキなど

鳴き声：「シャアシャアシャア…」

Point：以前は横浜では少なかったが  
現在は市街地などで多数の声  
が聞こえる。



栄区 (2021.08)

体は黒色で光沢がある

## ミンミンゼミ ★

(*Hyalessa maculaticollis*)

大きさ：体長36mm

時期：7月下旬から9月下旬

生息環境：平地の樹林など

西日本では山地にみられる

よく見られる木：サクラ、ケヤキなど

鳴き声：「ミン・ミンミンミンミー」



緑区 (2022.08)

背面は緑色が強い個体もいる



ツリ

## アブラゼミ ★

(*Graptopsaltria nigrofuscata*)

大きさ：体長40mm

時期：7月から9月

生息環境：市街地や樹林地など

よく見られる木：サクラ、ナシなど

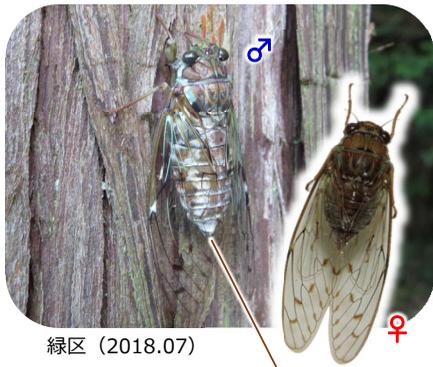
鳴き声：「ジージリジリジリ…」



旭区 (2018.07)



はね  
翅が茶褐色で不透明



緑区 (2018.07)

## ヒグラシ (*Tanna japonensis*)



大きさ：体長 雄40mm

雌28mm

時期：6月下旬から9月上旬

生息環境：平地の樹林など

薄暗い場所を好み、朝や夕方に鳴く

よく見られる木：スギ林など

鳴き声：「カナカナカナカナ…」



腹の先が白粉に覆われている

## ニイニゼミ



(*Platypleura kaempferi*)

大きさ：体長26mm

時期：6月下旬から9月上旬

生息環境：平地や市街地など

よく見られる木：ナシやかんきつ類の樹木

鳴き声：「チー…」



栄区 (2017.07)

透明の翅に淡褐色の斑紋が目立つ



## ツクツクボウシ



(*Meimuna opalifera*)

大きさ：体長33mm

時期：8月中旬から9月上旬

生息環境：市街地や樹林地など

よく見られる木：公園や街路樹のサクラなど

鳴き声：「ツクツクボーシ・ツクツクボーシ…ツクリョーシ」



戸塚区 (2015.09)

ぜんし  
前翅が長い



羽化のようす

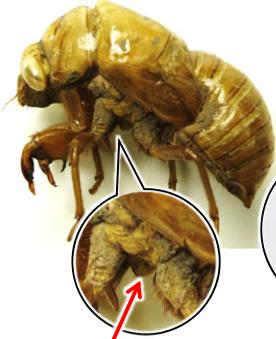
# セミの抜けがら

## 大きめの抜けがら

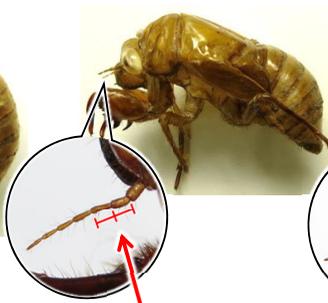
クマゼミ

ミンミンゼミ

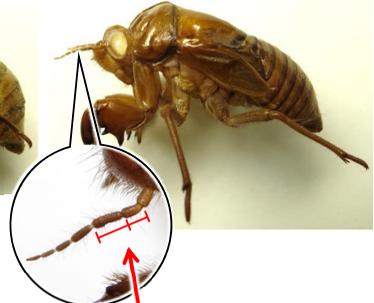
アブラゼミ



おへそのような突起がある



触角の3番目の節が  
2番目と**ほぼ同じ**長さ



触角の3番目の節が  
2番目の**約1.5倍**の長さ

## 小さめの抜けがら

ヒグラシ

ツクツクボウシ

ニイニイゼミ



背中が  
盛り上がる

光沢感が**ある**



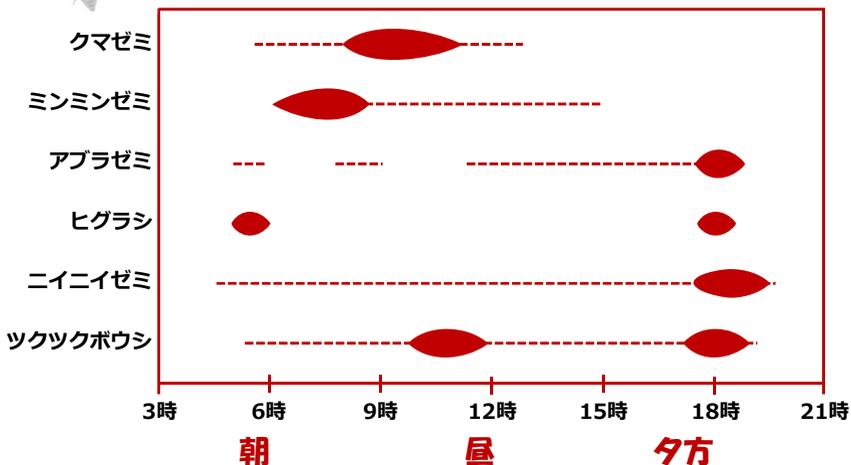
背中が  
平たい

光沢感が**ない**



泥が付着

# セミの鳴く時間



市内で見られる6種のセミの鳴き声が聞けるよ!

詳細は、WEB検索または二次元コードから  
横浜で見られるセミたち

検索



# 掲載種一覧

## ア行

アオスジアゲハ (虫)  
アオダイショウ (爬)  
アカハライモリ (両)  
アゲハ (虫)  
アズマヒキガエル (両)  
アズマモグラ (哺)  
アブラコウモリ (哺)  
アブラゼミ (虫)  
アライグマ (哺)  
イソヒヨドリ (鳥)  
ウシガエル (両)  
エビネ (花)  
オオカマキリ (虫)  
オナガ (鳥)  
オナガアゲハ (虫)

## カ行

カミツキガメ (爬)  
カラスアゲハ (虫)  
カワラヒワ (鳥)  
キアゲハ (虫)  
キジバト (鳥)  
キンラン (花)  
ギンラン (花)  
クゲヌマラン (花)  
クサガメ (爬)  
クマガイソウ (花)  
クマゼミ (虫)  
クリハラリス (哺)  
クロアゲハ (虫)  
ココマキリ (虫)  
コクラン (花)

コゲラ (鳥)

## サ行

サイハイラン (花)  
ササバギンラン (花)  
シジュウカラ (鳥)  
シマヘビ (爬)  
ジムグリ (爬)  
シメ (鳥)  
ジャコウアゲハ (虫)  
シュレーゲルアオガエル (両)  
シュンラン (花)  
シロハラ (鳥)  
シロマダラ (爬)  
スズメ (鳥)

## タ行

タカチホヘビ (爬)  
タシロラン (花)  
タヌキ (哺)  
チョウセンカマキリ (虫)  
ツクツクボウシ (虫)  
ツバメ (鳥)  
トウキョウダルマガエル (両)  
ドブネズミ (哺)

## ナ行

ナガサキアゲハ (虫)  
ニイニゼミ (虫)  
ニホンアカガエル (両)  
ニホンアマガエル (両)  
ニホンイシガメ (爬)  
ニホンイタチ (哺)  
ニホンカナヘビ (爬)  
ニホンスッポン (爬)

ニホンマムシ (爬)  
ニホンヤモリ (爬)  
ヌマガエル (両)  
ネジバナ (花)  
ノウサギ (哺)

## ハ行

ハクセキレイ (鳥)  
ハクビシン (哺)  
ハシブトガラス (鳥)  
ハシボソガラス (鳥)  
ハッカチョウ (鳥)  
ハラビロカマキリ (虫)  
ヒガシニホントカゲ (爬)  
ヒグラシ (虫)  
ヒナカマキリ (虫)  
ヒバカリ (爬)  
ヒメカマキリ (虫)  
ヒヨドリ (鳥)

## マ行

マヤラン (花)  
ミシシippiaアカカミミガメ (爬)  
ミンミンゼミ (虫)  
ムカシツチガエル (両)  
ムクドリ (鳥)  
メジロ (鳥)  
モリアオガエル (両)  
モンキアゲハ (虫)

## ヤ行

ヤマアカガエル (両)  
ヤマカガシ (爬)

## 参考資料

- ・横浜市森づくりガイドライン (横浜市環境創造局みどりアップ推進課), 2013
- ・陸域生物多様性に関する調査業務委託報告書 (横浜市環境科学研究所), 2013~2022
- ・横浜市水と緑の基本計画 (横浜市環境創造局政策調整部政策課), 2016 (改定)
- ・横浜市を流れる河川一覧 (横浜市道路局河川部河川企画課)  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/kasen/shoukai/gaiyou.html>
- ・河川水辺の国勢調査のための生物リスト, 2022  
<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/mizukokuweb/system/seibutsuListfile.htm>

## 写真協力

市川 竜也、浦垣 直子、上石 英文、七里 浩志





## よこはまのいきものハンドブック

編集・発行 横浜市環境科学研究所

〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町1 澁澤ABCビルディング1号館5F

TEL : 045-453-2550 FAX : 045-453-2560

Eメール mk-kanken@city.yokohama.lg.jp

ウェブサイト

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/>

横浜市環境科学研究所

検索



**KanKen**

令和5年3月発行